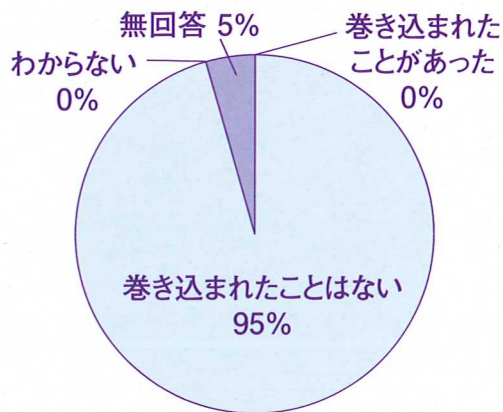


6 ケータイトラブルに巻き込まれた方の割合

ケータイ保持者のうち、ケータイ利用に係るトラブルに巻き込まれたことがある方の割合です。「ケータイ利用に係るトラブルに巻き込まれたことがある」と答えた人がいなかったのは幸いです。しかし、子どもが「トラブルに巻き込まれた」ことを話さなかったという場合もあるかもしれないので安心はできません。

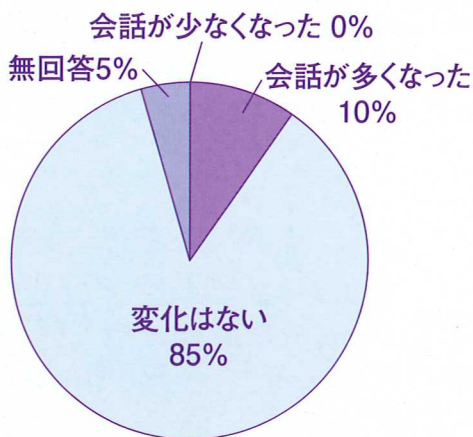


課題

- ・ケータイには必ずフィルタリングを使用して、外さないようにしましょう。
- ・ケータイのトラブルに巻き込まれた場合の解決方法を学んでおきましょう。
- ・学校や家庭、子ども会などの地域でケータイについて学ぶ機会を作り、子どもたちと一緒に、親や教師もケータイの学習をする必要がありそうです。

7 親子の会話の変化

ケータイ保持者のうち、ケータイを使うようになってからの親子間での会話の変化のグラフです。「会話が多くなった」のが10%もあったことは予想外でした。ケータイによって親子間の会話が増えてくれることは望ましいと思います。ただし、会話の内容が単なる連絡だけという場合もあるので、一家団欒に貢献するとまではいえないかもしれません。



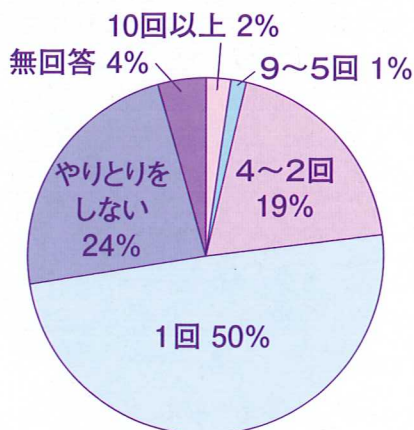
課題

- ・ケータイに頼らないで、親子の直接会話をするように努めましょう。
- ・中学生以上になると親子の会話が少なくなるので、ケータイの使い方によっては親子の会話を補う使い方ができるかもしれません。

8 親子間の、ケータイメール・電話でのやり取りの回数

ケータイ保持者のうち、ケータイのメールや電話での親子間での1日当たりのやり取りの回数（お子さん全体での回数）のグラフです。

前項の親子間での会話の変化に対する答えを裏づけしてくれるように、「ケータイのメールや電話での親子間でのやり取りの回数」が10回以上が2%もありました。4分の3の家庭でケータイでの親子の「やりとり」をしています。「やりとり」の内容が温かいものであってほしいと思います。



課題

- ・ケータイを、子どもの居場所確認、連絡の道具として活用している場合が多いです。
- ・ケータイでは、子どもの表情がわからないので、ケータイだけに頼らずに子どもの様子を直接見る努力をしましょう。